

平成18年2月15日発行

みんなで考えよう 将来の「土地利用」のあり方 上村地区 土地利用計画策定 地区懇談会だより ～ 創 刊 号 ～

ホームページアドレス <http://www.city.iida.nagano.jp/kikaku/tochikeikaku/>

第1・2回 地区懇談会を行いました

日 時 第1回 平成17年11月 1日(火) 午後7:00～9:00
第2回 平成17年12月20日(水) 午後7:00～9:00

場 所 上村コミュニティセンター

参 加 検討委員 第1回10名、第2回13名

第1回は、事務局より総合的な土地利用計画についての説明の後、上村地区から選出された検討委員が2グループに分かれ、身近な面から上村地区の現状について、各自の思いを議論しました。

第2回は事務局より「飯田市土地利用に関する基本方針(素案)」の説明の後、2グループに分かれ課題の解決策などについて話し合いました。グループ発表の後意見を、宅地・農地・森林などに整理しました。

今後も検討委員の皆様によるグループ討論などに取り組みながら、検討を進めていきます。

飯田市の土地利用計画については、次ページをご覧ください。



グループワークの様子 主な意見は3、4ページのとおり



「土地利用計画」とは

「将来にわたって住みやすく生き生きとしたまちづくりのために」地域づくりの基盤となる土地利用のあり方を示した計画です。

どうして「土地利用計画」をつくるのか

飯田市は、雄大な自然と暮らしやすい気候に恵まれ、それぞれの地域ごとに特色を生かした豊かな暮らしが築かれてきました。

しかし、近年 経済成長や車社会・交通網の発達に伴い、郊外への住宅地・商業地の無秩序的な拡大(それに伴う、道路や下水道施設の投資及び維持管理費の増大)、昔ながらの景観や自然の喪失、中心部や農山村地域における人口減少・高齢化などにより活力の低下を招くとともに、農地の保全や農業の維持が困難となってきています。

このような状況の中、すばらしい景観や自然を守り、住みやすく生き生きとしたまちを実現し次世代に引継ぐためには、計画的な地域づくりが必要であると考えられます。また、持続可能な地域経営のために従来の土地利用のあり方を見直して、計画的な土地利用を行う必要があると考えられます。

飯田市が行う「土地利用計画」とは

飯田市では、平成18年度にかけて、市や地域の土地利用計画を市民の皆さんと協働して作り上げていくこととなりました。

具体的には、土地利用の全体方針（国土利用計画）を始めとして、目指す都市像（都市計画マスタープラン）、農業施策と農地利用（農業振興地域整備計画）、景観づくりの方針・ルール（景観計画）などを**総合的・体系的に策定**することとし、併せて地域の皆さんの意見や個別の開発計画等を調整する仕組みづくりを進めていきたいと考えています。



今回の土地利用計画の実現は、行政だけでは出来ません。計画づくりやその運用に多様な市民の皆さんの参画を頂きながら行いたいと考えています。今回開催した地区懇談会もその一つです。

「土地利用計画策定 地区懇談会」とは

<役割>

- 飯田市全体に関する土地利用の課題の共有化、基本的方針（骨格）についての意見の反映
- 上村地区における土地利用の現状把握、将来の土地利用の方向性の検討とまとめ
- 土地利用計画運用等の仕組みづくりの検討

<検討委員>

- 地区から推薦された16名で構成されたメンバーです。

第1回上村地区懇談会で出た主な意見

上村地区の現状は？

歴史文化の基盤を持っている。

人口減少、過疎化が進んでいる地域

【良いところ】

生活・公共・福祉など

- ・人間がまると、やさしさがある。
- ・近所つきあいがよい
- ・外来者が多くなり、他人とのつながりが増えた
- ・デイサービスセンター、居宅サービスなどが充実している
- ・お互い顔や事情が分かるので安心
- ・道路がよくなり、市内に行くのに便利になった
- ・水道、水洗トイレが整備され良くなった
- ・住むには良いところ
- ・公害的になるものが少ない

農林業など

- ・地区内に変化（標高差、気候、谷）があり、特色ある作物がある
- ・二度イモ、野菜、雑穀類がおいしい
- ・現状維持がやっとだが、頑張っている

自然環境・歴史文化など

- ・水、空気、星がきれい
- ・四季や朝晩を通じて景観が素晴らしい
- ・霜月祭りや歴史的な文化財が多くある

【課題・問題点】

生活・公共・福祉など

- ・三遠南信、R152が全通していない
- ・市街地への、道路、公共交通に問題がある
- ・道が狭い箇所がありバスが行けない
- ・空き家が多い
- ・子供の遊び場がない
- ・雪の処理が大変
- ・高齢者の足（買い物、病院）に不便
- ・救急車が到着するまでに時間を要する。
- ・30～50代の男性に元気、活力がない
- ・若者定住、高齢化の問題
- ・近くに商店がない
- ・商店街に活気がない
- ・品数が少ないので利用しにくい
- ・若者の働ける場所がない
- ・用地がない

農林業など

- ・農地の荒廃・害獣の被害
- ・若者が継承してくれないので淋しい
- ・斜面の耕地が多く機械が使えない
高齢者にはきつい
- ・木材が安い

将来こうなってほしい・ほしくない

【公共・福祉】

自治振興センターに地元の職員を残して欲しい。
共同墓地をつくってみては。
福祉施設（老人ホーム）の導入。
学校、保育園を残してほしい
公共サービスの低下

【道路・交通】

国道、三遠南信の完全開通
喬木、市内への道路拡張、時間の短縮
市内バスが通ってほしい。
福祉バス等高齢者の移動手手段の確保

【生活環境】

携帯電話が広く使えるようになってほしい
コンビニができてほしい
働く場所の確保、企業誘致
人口の問題、特に若者が離れること

【農業・林業】

「下栗の里」を日本のふるさと農村にする。
景観農業、観光農業
後継者、担い手の確保 害獣対策
野菜、穀物が売れるように斡旋してほしい。
木材の利用度が高まってほしい。
森林整備、自然林の保護。

【自然環境・文化】

四季折々の花を咲かせる里となってほしい
霜月祭りをはじめ、歴史文化がきちんと継承されるように

宅地(住宅・商業地・工業地)

空家を民宿や、都会の人に貸し出すなど利用する
宿場町として活性化を図る
コンビニを喫茶店に併設して若い人を招く
ストーブ用のペレット工場(田の半場) など

農地

人手のかからない作物への転換(省力作物)
ソバをまく、観光体験農業
フキを植え、加工等して売り出す
下栗の農地(景観)の保存、担い手の確保
しらびそでしか味わえない一品を(特産品)

森林・緑地

木材の価格が安く、森林の整備が滞っている、間伐枝
打ちが必要
害獣対策として、地域ごとに犬の放し飼いを
する(農地等の保全)
里山の整備、山林、水資源の保全
炭焼きを復活
民有林のケヤキ、トチ、クヌギ類を残す(景観防災)
しらびそ、御池山、尾高山の整備(展望、眺望良
く)
北又、本谷川(渓谷)釣り、ツーリング、登山口活
用
石楠花の群生地を観光に利用 など

河川・水路

河川敷の公園化、子供が遊べるように

その他(公共施設など)

デイサービス周辺の有効活用、高齢者アパ
ートなどまとめる
(田の半場)住宅、工場、福祉施設、共同墓
地などに利用
下栗地区林に共同墓地、霊園公園として、全
国から募集、景観も良い、道も出来る
大平グランド、大島河原キャンプ場など有効
利用する、アクセス道の整備
しらびそ通年営業、冬山を見てもらう
下栗線の道路をよくする。かえって悪いほう
が良い など

景観・歴史・文化・観光

下栗の電柱地中化
地区案内、登山、山の名前の看板等の設置
国道沿いなど、かえでやもみじを植え、植樹景観を
良くする など

土地利用計画策定 市民会議を開催しました

飯田市全体の土地利用について話合う、市民会議を開催しております。各地区からの推薦者、建築・自然・農業・環境・NPOなど各分野からの推薦者、公募の43名で構成し、2年間かけて話し合いを進めていきます。

今年度は7回開催し、地区懇談会の意見などを参考に土地利用を総合的に検討し、「飯田市土地利用に関する基本方針(素案)」「国土利用計画飯田市計画(素案)」などについて話し合いを行いました。

市民会議の様子・意見については、ホームページの「市民会議ニュースレター」をご覧ください。

飯田市土地利用に関する基本方針とは・・・

総合的・長期的な視点から、飯田市の土地利用に関しての基本的な考え方・重要事項・運用の基本・基本的方向など、普遍的な内容を示したものです。

国土利用計画飯田市計画とは・・・

国土利用計画法に基づき、飯田市の土地利用に関する【土地利用に関する基本構想】【利用区分ごとの規模の目標及び地域別の概要】【目標を達成するために必要な措置の概要】について定める計画です。

地区懇談会・市民会議などからご意見を頂き、国土利用計画審議会を経て平成18年度6月飯田市議会に上程する予定です。

国土利用計画飯田市計画(素案)はホームページ・各飯田市役所支所・自治振興センター・公民館にてご覧になれます。ご意見がございましたら、2月28日(火)までにご提出ください。

これらを基本としながら、飯田市の都市計画マスタープラン・農業地域振興整備計画・景観計画など個別の計画の作成・見直しを検討します。

連絡・問合せ先

飯田市役所 〒395-8501 飯田市大久保町2534
企画課・管理計画課・農業課・農業委員会事務局 電話 22-4511(内線3223)
連絡先 企画課 担当:篠田 鈴木 FAX 53-4511
E-mail: ikikaku@city.iida.nagano.jp